

# SDGs 北海道の地域目標をつくろう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



テーマ「生物多様性」

## 目標：北海道の地域優先課題に即した 5つの目標の達成

私が考える  
2030年  
北海道の地域目標

SDGsの目標15は、陸上の資源の保全と管理に関するものである。

ここには、地上生態系の保護、回復、持続可能な利用促進、そして、持続可能な森林管理、砂漠化対策、土地劣化の阻止と回復、生物多様性の損失阻止などが掲げられている。

この目標15の下に、12のターゲットがある。このターゲットを見ると、「陸域生態系サービスの保全、

回復、持続可能な利用」、「絶滅危惧種の保護および絶滅防止対策」、「侵略的外来種の移入防止、駆除の対策を導入」、「生物多様性の価値を、計画策定及び会計に組み込む」など、そのまま北海道に当てはめることが妥当な目標がある一方、「森林を管理し、破壊阻止及び森林率増加」など、世界的に見ても森林の割合が非常に高い北海道において、さほど優先度が高いと思われないターゲットや、「砂漠化に対処し、劣化した土壌を再生」など、砂漠化が発生していない北海道にはそぐわないと判断されるターゲットも存在する。

SDGsは、地球全体での課題を整理し目標を立てているため、地域レベルでこの目標を当てはめようとすると、地域の実情にそぐわない状況が生じる。これは、北海道に限らず、日本中、世界中のどの地域にも当てはまる。



空中写真を使った小学校での環境教室



アジア・パシフィックRCE会議

このため、地域レベルの目標を設定する際には、まずは、その地域の現状を科学的に分析、把握し、SDGsのターゲットが、地域目標として妥当かどうか検証することが必要である。

北海道では、2015年12月に、ESDを地域レベルで実践するため、石狩、空知、後志、胆振、日高の振興局管内を対象として、持続可能な開発のための教育に関わる専門性を持

つ地域の拠点：RCE 北海道道央圏（Regional Centre of Expertise on Education for Sustainable Development）が設立された。

このRCE 北海道道央圏のねらいは、まさにSDGsの地域での実現である。

RCE 北海道道央圏では、道央圏における課題を整理し、具体的な目標（案）を検討している（下図参照）。

## 北海道道央圏のローカルSDGs（目標15関連）

	SDGsのターゲット	道央圏のローカルな目標
1	陸域生態系サービスの保全、回復、持続可能な利用	道央圏における重要里地、里山5箇所の保全
2	山地生態系の保全、持続的な便益の強化	森林・野生生物生息地のモニタリングと機能評価
3	絶滅危惧種の保護および絶滅防止対策	道央圏版レッドリストの作成支援 自然保護区と絶滅危惧種の生息域の重ね合わせ（GAP分析）による生物多様性保全
4	侵略的外来種の移入防止、駆除の対策を導入	北海道の指定外来種12種の移入防止
5	生物多様性の価値を、計画策定及び会計に組み込む	森林環境税をはじめとするPESの導入へ向けての普及啓発

ここでは、12のターゲットのうちから優先度の高いものを5項目選び、それぞれに地域課題を想定したローカル目標を設定している。今後、RCE 北海道道央圏では、この目標を実現するため、様々な取り組みを実施していく予定である。

金子 正美（酪農学園大学／RCE 北海道道央圏 代表）



マレーシアの森での調査風景

# NPO 法人 さっぽろ自由学校「遊」

さっぽろ自由学校「遊」は、市民がつくる、市民に開かれた学びの場です。以下は、設立趣意書（2000年7月起草）に記載された「遊」の目標です。

■ **自立と共生** 自由で自立した市民として、国籍や国境を超えて広くアジアや世界の草の根の市民とつながり、共生するための生き方、知識、技法を身につける場となることを目指します。

■ **平和と人権** 一人ひとりの市民が、かつての植民地支配と侵略戦争が他の諸国の人々にもたらした加害の歴史を認識し、その罪に対する反省を共にし、平和と民主主義、正義と人権の理念を、市民社会の日常倫理として身につける場となることを目指します。

■ **交流と提案** 教える者と教えられる者の関係が固定した、従来の教育制度上の「学校」ではなく、市民が、考えや知識を相互に交換しあい、お互いのより良い生き方、お互いが恵みを受けている地球環境と人間社会の共生のあり方を探求し、提案し、行動のきっかけを見つける学び合いの場として発展することを目指します。

## 【活動内容】

### 1. 市民を対象とした教育および学習活動

人権、平和、環境、開発、市民文化などをテーマとした講座や学習会を年間を通して開講しています。また、公開イベントや国内外へのスタディツアーなども随時実施しています。

### 2. 地域づくりを目的とするネットワーク形成、調査研究、政策提言

他の団体・個人などとネットワークを形成し、様々なテーマで調査研究活動や政策提言活動を行っています。

### 3. 学習活動の普及を目的とする教材作成、情報提供

ブックレットや報告書等の作成、会報誌「ゆうひろば」の発行、ウェブサイト・SNS等を活用した活動情報の発信などを行っています。

## SDGs 北海道の地域目標をつくろう

発行日 2017年3月27日

編集・発行 NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目愛生館ビル5F

TEL.011-252-6752 FAX.011-252-6751

E-mail syu@sapporoyu.org URL <http://www.sapporoyu.org/>

イラスト 今泉 沙織

表紙デザイン 久保 奈菜

助成 独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金